



どうにかする力

泗水小学校だより
R5. 1. 10(火)
No. 39
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに
【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成
～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～



※左のQRコードを読み取ると泗水小
HPに移動します。随時更新中です。

新年明けましておめでとうございます！

本日、令和4年度の後期後半がスタートしました。新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

17日間の冬休み、お子さんは元気に過ごせましたでしょうか。大変心配していましたが、冬休み中は大きな事故などの連絡がなく、ほっとしているところです。クリスマス、お正月と子どもたちにとっては楽しい行事が続きました。各ご家庭で、楽しい思い出がたくさんできたことと思います。

後期後半の授業日数は、52日間（6年生は51日間）です。引き続き、新型コロナウイルス感染対策との両立での教育活動が続きますが、次の学年への進級・進学を見据えながら、泗水っ子の「自立」を目指して、「どうにかする力」を育む教育活動を展開していきたいと思っております。本年も保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

しめ縄飾りづくり～3年生米作り体験活動の締めくくりとして～

年明け前の活動になりますが、12月23日（金）に、米作り体験活動で大変お世話になっている稲田壽昭様、さらに中村和房様、右田正春様にご指導をいただき、3年生が、正月飾りである「しめ縄飾り」づくりに挑戦しました。3年生が田植え・稲刈りした稲わらを使い、それぞれが立派なしめ縄飾りを完成させていました。



3年生：「しめ縄飾り」製作の様子

3年生は自宅に持ち帰りましたので、きっと、各ご家庭で飾っていただいたことと思います。学校の玄関にも飾らせていただきました。出来栄は、いかがだったでしょうか。

☆校長室から独り言36☆

子どもの体力が危ない！～全国体力テストの結果が過去最低に～①

年明け前の12月24日付け熊日新聞に、「22年度体力テスト 小中生ともに過去最低」という見出しの記事が出ました。全員が実施対象の小学5年生と中学2年生で、実技8種目の体力合計点が、男女とも過去最低という結果でした。特に持久力が必要な「20mシャトルラン」「男子1500m・女子1000m」の成績低迷が目立つとのことでした。

また、同時に行われた生活習慣の調査では、学習以外でスマートフォンやゲーム機、テレビなどを視聴する時間が「1日5時間以上」と答えた小5男子が16.9%（昨年度15.9%）、小5女子が12.6%（昨年度11.4%）と長時間化が目立ちました。さらに、視聴する時間が長くなるほど、体力テストの合計点（80点満点）が低下する傾向も見られました。小5男子で「1時間未満」が54.0点に対し、「5時間以上」は49.8点で4.2点の差がありました。スポーツ庁は、「体力テストの結果の低下は、コロナ禍のマスク着用により全身を動かす機会が減ったこと、スマートフォンやゲーム機で遊ぶ時間が増えていることが原因ではないかと推測している」とのことでした。

本校児童の実態を見ても、体力低下を大変危惧しているところです。平成30年度末に小学校の運動部活動が社会体育に完全移行して約4年が経過しました。社会体育のクラブなどに加入して運動をしている児童と、そうでない児童の運動量の違いは歴然としています。さらにコロナ禍により、人との接触や会話、外で体を動かして遊ぶ時間も減っていると考えられます。子どもたちの体力テストの結果を分析して、課題となっている種目については、体育の授業で補強運動などを取り入れて運動量を確保すると同時に、休み時間に外遊びを奨励し、体を動かしたいという意欲を高めて、体を動かす機会を増やしていくように仕組んでいくことが、今の学校には求められていると私は思います。